

各位

会社名 株式会社レノバ
 代表者名 代表取締役社長 CEO 木南 陽介
 (コード番号: 9519 東証第1部)
 問合せ先 執行役員 CFO 森 暁彦
 (TEL.03-3516-6263)

2019年4月売電量のお知らせ

当社の運営する再生可能エネルギー発電所における、売電量をお知らせいたします。

1. 売電量の速報値及び累計実績値

2020年3月期							
	発電所数	発電出力*1 (MW)	計画売電量*2 (kWh)	実績売電量 (kWh)	計画比	前年同月比 上段: 既存施設*3 下段: 全施設	
4月	太陽光 バイオマス	8 1	164.8 20.5	30,799,141	31,654,587	+ 2.8%	+ 0.1% + 8.5%
5月*4*5	太陽光 バイオマス	9 1	184.0 20.5	26,420,014			
6月	太陽光 バイオマス	9 1	184.0 20.5	30,366,441			
7月*6	太陽光 バイオマス	10 1	232 20.5	38,032,288			
8月	太陽光 バイオマス	10 1	232 20.5	39,632,700			
9月	太陽光 バイオマス	10 1	232 20.5	34,607,613			
10月	太陽光 バイオマス	10 1	232 20.5	32,419,133			
11月	太陽光 バイオマス	10 1	232 20.5	28,521,169			
12月*7	太陽光 バイオマス	11 1	312.8 20.5	31,405,767			
1月	太陽光 バイオマス	11 1	312.8 20.5	32,971,154			
2月	太陽光 バイオマス	11 1	312.8 20.5	36,325,949			
3月	太陽光 バイオマス	11 1	312.8 20.5	43,072,463			
通期	-	-	-	404,573,832			
期間 累計	-	-	-	30,799,141	31,654,587	+ 2.8%	+ 0.1% + 8.5%

*1 太陽光発電の発電出力はモジュールベース(太陽電池モジュールの最大出力の和)の設備容量で表記。また、バイオマス発電は発電端出力ベースの容量で表記。いずれも前月末時点における設備容量を記載

*2 計画売電量は当社が独自に算出した数値

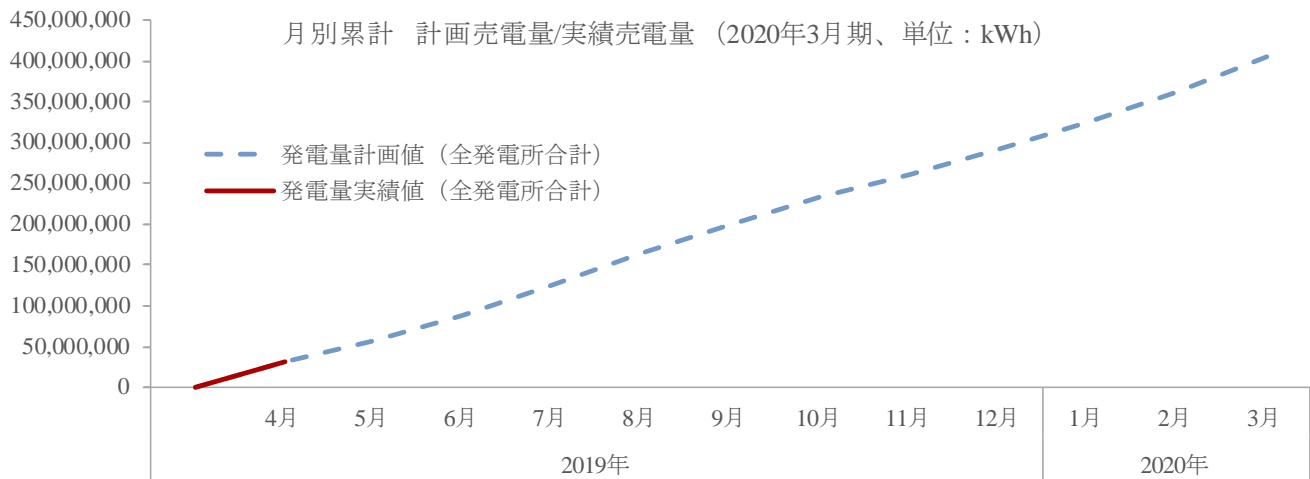
*3 既存施設は、運転開始後13ヶ月以上を経過した施設を対象に算出

*4 2019年5月は、バイオマス発電所において、運転を停止して定期検査・定期修繕を実施

*5 2019年5月に、那須烏山ソーラー発電所の新規運転開始

*6 2019年7月に、軽米西ソーラー発電所の新規運転開始予定

*7 2019年12月に、軽米東ソーラー発電所の新規運転開始予定



2. 発電所別月次売電量

2019年4月					
出資先名称	出資割合	買取価格*8 (1kWhあたり)	発電出力*1 (MW)	速報値 (kWh)	4月 - 3月 累計実績値 (kWh)
㈱水郷潮来ソーラー	68.0%	40円	15.3	1,964,568	1,964,568
㈱富津ソーラー	51.0%	40円	40.4	5,009,040	5,009,040
㈱菊川石山ソーラー*9	63.0%	40円	9.4	1,276,775	1,276,775
㈱菊川堀之内谷ソーラー*9	61.0%	40円	7.5	1,000,516	1,000,516
九重ソーラー匿名組合事業*10	100.0%	40円	25.4	2,123,448	2,123,448
那須塩原ソーラー匿名組合事業	100.0%	40円	26.2	3,333,624	3,333,624
大津ソーラー匿名組合事業*10	100.0%	36円	19.0	1,698,912	1,698,912
四日市ソーラー匿名組合事業*9	100.0%	36円	21.6	2,438,184	2,438,184
ユナイテッドリニューアブルエナジー(株)	35.3%*11	32円/24円*12	20.5	12,809,520	12,809,520
合計				31,654,587	31,654,587

- *8 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく各発電設備に対して FIT 法に基づき適用されている固定買取価格（消費税抜表示）
- *9 (株)菊川石山ソーラー及び(株)菊川堀之内谷ソーラー、九重ソーラー匿名組合事業、大津ソーラー匿名組合事業、四日市ソーラー匿名組合事業は、電力会社が当社発電所の周辺で実施する系統工事に伴う作業停電の影響を売電量通期計画に考慮
- *10 九重ソーラー匿名組合事業及び大津ソーラー匿名組合事業は、電力会社より発令される需給バランス調整による出力制御及び電力会社の系統工事に伴う出力抑制の影響を売電量通期計画に考慮
- *11 当社はユナイテッドリニューアブルエナジー(株) (URE) に対して、当社子会社である千秋ホールディングス(株) (千秋 HD) を通じて出資しており、当社による URE の実質持分 (千秋 HD が保有する URE の株式に対して、当社が保有する千秋 HD の持株比率を乗じ、当社が直接保有するとみなして算出した URE 持株比率) は 35.3%
- *12 間伐材由来の木質バイオマスは 32 円及び一般木質バイオマスは 24 円

3. 出力制御に関する状況

2019年4月は、九州電力株式会社より出力制御指示が発令され、当社が運営する一部の太陽光発電所は発電を停止いたしました。2019年4月の出力制御に伴う逸失発電量の合計は、当社が運営する全ての太陽光発電所の年間計画売電量に占める比率は0.45%であり、当社の2020年3月期の連結業績予想に対する影響は軽微です。なお、当社は、連結売上高計画の策定に際して、太陽光発電事業における一定の出力制御リスク及び長雨等の気象影響リスクを織り込んでおり、今月の出力制御はその範囲内です。

(発電所別の出力制御の状況)

対象発電所	稼働停止の日数	全ての太陽光発電所の年間計画売電量に占める逸失発電量の比率
九重ソーラー発電所	6日	0.27%
大津町ソーラー発電所	5日	0.18%

以上

【リリースに関するお問い合わせ先】

IR室 野瀬

TEL : 03-3516-6263

Eメール : ir@renovainc.com